

## 第5章 大田区観光の推進戦略

### (1) 基本戦略の展開シナリオ

#### 【戦略シナリオ検討の基本的考え方～優先的な取り組みを考える観点】

##### ◆容易性・実効性<=すぐにできること>

・「すぐにできること」を実施することにより、始動期の取り組みが速やかに動き出す。

##### ◆必要性・波及度<=すぐに(先に)やるべきこと>

・「すぐにできること」を実施した後、「すぐにやるべきこと」を展開することにより始動期の取り組みの加速度が増す。

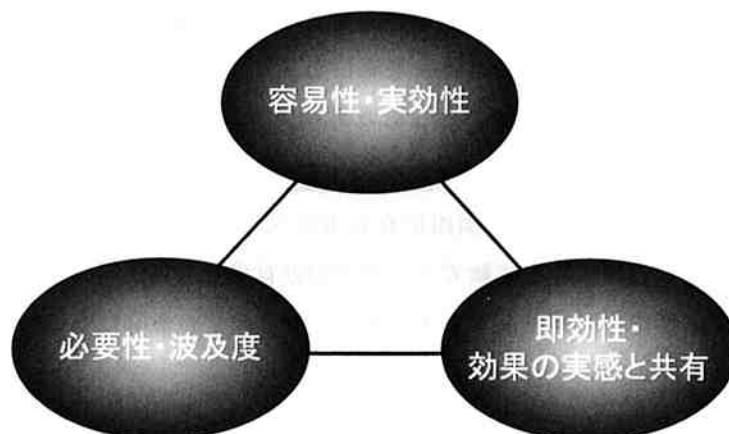
##### ◆即効性・効果の実感と共有<=みんなでやるのが楽しいこと>

・みんなで取り組むことにより効果を発揮し、効果が見える喜びをみんなで共有することにより、楽しみながら取り組み持続・発展することができる。

大田観光を効果的かつ着実に展開していくためには、関連施策・事業を段階的・計画的に推進していくことが求められます。そのためには、各施策・事業の主体と優先順位を意識した戦略展開のシナリオをもち、それを指針・羅針盤とした継続的な取り組みが必要不可欠です。

各施策・事業の取り組みの優先順位を考えるにあたっては、「容易性・実効性」「必要性・波及度」「即効性・効果の実感と共有」の3つの観点にもとづいて定めることとします。戦略の展開において最も重要な点は「人が動く」ことです。区等の行政、観光協会や関連組織、観光事業者を含む各種事業者、まちづくり団体・組織、一般区民など、さまざまな主体が相互に関わり合いながら、互いの活動実態を認め合いつつ、実際に動きやすい環境づくり・仕組みづくりのもとに、着実に行動へと移すことが基本となります。

なお観光振興プランを着実に推進するためには、基本戦略の展開シナリオに加え、具体的な事業をリーディングプロジェクトとして定め、実施期間、目標、実施主体を明らかにし、事業を実施していくことが必要です。



## (2) リーディングプロジェクト

### ① リーディングプロジェクトの考え方

観光振興プランを着実に推進していくためには、具体的な事業をリーディングプロジェクトとして定め、実施期間、目標、実施主体を明らかにする必要があります。

#### 【リーディングプロジェクトとは】

##### ◆重要性と先導性をもつ分野横断的な事業

- ・事業としての重要度が高く、基本戦略の多くに関連し、事業を実施することで、大田観光振興プランの効果を高める先導的な取組み事業のことを言います。

### ② リーディングプロジェクトの要件

リーディングプロジェクトは、

- ◎実施期間を5年とし、5年毎にローリングしていきます。
- ◎目標を定め、目標が数値化できるものについては、目標値を明示します。
- ◎事業実施主体を明らかにします。

### ③ 取り組むべきリーディングプロジェクト

観光振興プランを推進するために、以下の4つのリーディングプロジェクトを推進します。

#### リーディングプロジェクト① 蒲田と大森を核とした都市観光への取り組み

大田区を代表する蒲田や大森を核として、拠点性、グルメ、文化性を歩いて楽しめるメニュー・ルートを開発します。また、蓄積する宿泊施設や公共交通機関との連携を図り、羽田空港に直近した滞在拠点として、外国人観光客にもアピールします。

#### リーディングプロジェクト② 世界に誇る「おおたのものづくり」をみせる仕掛けづくり

世界からも注目される“大田区のものづくり”を、その技術、工程、製品、そして文化としても発信し、体験できる場を形成します。ただし、あくまでも、ものづくり現場や事業に支障のない範囲を基本とした取組みを前提とします。

#### リーディングプロジェクト③ 羽田空港の再国際化へ対応した仕組みづくり

間近に迫った羽田空港の再国際化を大田区へのグローバルな集散往来の契機として捉え、羽田空港に近接して体験できる我が国固有の文化、ものづくり等を情報発信するとともに、空港からの体験ミニツアー等、トランジット客にも応じたメニュー化を図ります。

#### **リーディングプロジェクト④ 水と緑のまち大田区を楽しむ仕掛けづくり**

東京湾と多摩川に挟まれた大田区の自然環境や景観を区民や来訪者によりアピールするため、水と緑を眺める、水と緑にふれあう、水と緑を背景として楽しむなどの様々な演出やプログラムづくりに取り組めます。

### 【プロジェクトの概要】

大田区を代表する蒲田と大森を核として、拠点性、グルメ、文化性を歩いて楽しめるメニュー・ルートを開発します。また、蓄積する宿泊施設や公共交通機関との連携を図り、羽田空港に直近した滞在拠点として、「リーディングプロジェクト③羽田空港の再国際化へ対応した仕組みづくり」と連携しながら、外国人観光客にもアピールします。

### 【プロジェクトの事業例】

#### ◎蒲田・大森周辺の楽しみ方・新たな魅力づくりのための情報蓄積

- ・「**限界性の蒲田**」、「**文化性の大森**」という個性を活かした周辺の魅力スポットのデータベース化
- ・区民から蒲田・大森おすすめスポットの公募・データベース化
- ・蒲田、大森固有の「食」のデータベース化
- ・バリア情報のデータベース化

#### ◎まち歩きを支援するためのツール・魅力づくり

- ・食べ歩きマップの充実
- ・季節ごと、テーマごとのおすすめみどころスポットの紹介・シリーズ化
- ・外国人向け多言語対応お買い物マップ・大田区楽しみ方マップの作成
- ・蒲田、大森周辺商店街協働の一店逸品（一品）運動の展開
- ・蒲田、大森発着所要時間別まち歩き周遊コースの充実  
(1時間、2時間、半日、1日など)
- ・蒲田、大森発着テーマ別まち歩き周遊コースの充実・設定  
(B級グルメ堪能コース、路地裏魅力探索コース、**東海道筋や商店街お宝探しコース**、文化の香りコース、花の名所巡りコース、水辺散策コース、都市のオアシス堪能コースなど)

#### ◎蒲田・大森周辺への来訪を促すための情報発信

- ・蒲田、大森周辺の外国人対応可能宿泊施設のPR
- ・区民の推薦による施設・資源の「自慢の大田」認定・紹介
- ・蒲田周辺“夜の楽しみ方（温泉・飲食施設）”情報の発信

#### ◎蒲田・大森周辺への来訪を促す企画ツアー・イベント開催

- ・蒲田、大森周辺商店街お宝発見ツアー・イベントの実施
- ・外国人向け日本独自の集客施設体験ツアーの実施

#### ◎快適なまち歩きを支援するための仕組みづくり

- ・ 歩行者用観光案内標識の整備（蒲田・大森駅前）
- ・ 来訪者向けインフォメーションの設置
- ・ 呑川緑道を活用した回遊ルートの整備
- ・ 蒲田、大森周辺ガイド（大田観光の達人）の養成
- ・ 蒲田、大森駅から各見所スポットまでの交通機関の案内板の設置
- ・ 区民がお薦めする旬の蒲田・大森の情報発信ボードを蒲田・大森駅に設置
- ・ 既存宿泊施設と連携した「泊まる魅力」「まち歩きの魅力」サービス充実

**【プロジェクトの概要】**

世界からも注目される“大田区のものづくり”を、その技術、工程、製品、そして文化としても発信し体験できる場を形成します。ただし、あくまでも、ものづくり現場や事業に支障のない範囲を基本とした取組みを前提とします。

**【プロジェクトの事業例】**

- ◎ものづくりを見学・紹介するための仕組みづくり
  - ・ものづくり見学ガイドの養成講座の開催
  - ・ものづくりガイド検定・ガイド認定
  - ・大田区まち工場見学希望者向けデータベースの充実
  - ・まち工場見学窓口の一元化
  - ・羽田空港国際ターミナルに大田区の技術を紹介するスペースを設置
- ◎ものづくりを紹介するためのツールづくり
  - ・小中学生向けにまち工場を解説する冊子の作成
  - ・多言語化のまち工場紹介パンフレット発刊
- ◎ものづくりを紹介するためのイベント開催
  - ・まち工場の技術者が伝えるものづくり精神伝道講座の開催
  - ・大田区のものづくり展示会の開催
  - ・外国企業向け大田区ものづくりPR見学会の開催
  - ・企業向けものづくり技術見学・商談会の開催
- ◎ものづくりを見学・体験する企画ツアー
  - ・まち工場の歴史探訪・雰囲気体感ツアーの実施
  - ・外国人向け大田まち工場見学ツアーの実施
  - ・一日弟子入り体験企画ツアーの実施
  - ・工業学校と連携した単位取得のための実習体験
  - ・親子向けまち工場を舞台とした自由研究お手伝いツアーの実施
  - ・生徒・学生対象のテクノスクールの開設
- ◎伝統産業の体験の充実
  - ・海苔すき体験・切子ガラスづくり体験の充実
  - ・海苔すき技術者の養成講座の開催
  - ・羽田空港国際ターミナルで外国人向け海苔すき実演イベント
  - ・大田区の伝統産業を巡る（海苔すき体験、海苔問屋、アナゴ釣り）ツアー

## 【プロジェクトの概要】

間近に迫った羽田空港の再国際化を、大田区へのグローバルな集散往来の契機として捉え、羽田空港に近接して体験できる我が国固有の文化、ものづくり等を情報発信するとともに、空港からの体験ミニツアー等、トランジット客にも応じたメニュー化を図ります。

## 【プロジェクトの事業例】

- ◎大田区への来訪を促すための情報発信
  - ・海外メディアを招聘した大田区PRツアーの実施
  - ・大田区の魅力紹介多言語対応DVD、パンフレットの作成  
(100円ショップ、漫画喫茶、カプセルホテル、B級グルメ等)
  - ・大田区主要観光案内ホームページの多言語化
- ◎外国人を受け入れるための仕組みづくり
  - ・外国人受け入れ対応マニュアルづくり
  - ・日常のもてなしのための外国語講座の開催
  - ・外国人対応可能店舗でのウエルカムボード（対応可能言語の表示）の設置
  - ・蒲田周辺ホテル・旅館を中心とした外国人宿泊化への対応
- ◎外国人が大田区を楽しむための企画ツアー
  - ・トランジット客向けの整備棟見学・お買い物ツアーの実施
  - ・羽田空港発着日本最後の半日を堪能～大田の良いところ取りツアーの実施
- ◎外国人が快適に大田区を楽しむための仕組みづくり
  - ・羽田空港・蒲田周辺のお買い物マップの作成
  - ・多言語対応の案内標識の設置
  - ・外国人観光客向けの案内ガイドの養成
  - ・羽田空港のインフォメーションセンターへの大田観光情報設置
  - ・外国人向け大田区内の鉄道・バスフリーパスの設定
- ◎外国人が大田区を楽しむための情報蓄積
  - ・区内の主要観光スポットまでの乗り換え情報と所要時間のデータベース化
  - ・区内在住外国人を対象とした外国人視点の大田区の魅力収集
  - ・外国語対応可能飲食・宿泊施設のデータベース化
  - ・エスニック飲食店のデータベース化

【プロジェクトの概要】

東京湾と多摩川に挟まれた大田区の自然環境や景観を、区民や来訪者によりアピールするため、水と緑を眺める、水と緑にふれあう、水と緑を背景として楽しむなどの様々な演出やプログラムづくりに取り組みます。

【プロジェクトの事業例】

◎水辺資源を活かした他地域との連携事業

- ・品川区などとの屋形船や水上タクシーの広域ネットワーク化
  - ・多摩川を軸とした川崎市、あるいは上流圏自治体との連携イベントや交流
- ※ しながわ水族館からの水上バスは平成 20 年 9 月 29 日をもって運航を停止した。

◎快適に回遊するための仕組みづくり

- ・舟の乗船予約やイベントなど予約窓口の一元化
- ・水辺と緑に沿ったウォーキング、ジョギングルート、サイクリングコースの設定（例えば大森から東京湾へのルート、桜を巡るプロムナード、六郷用水など）

◎水と緑を基軸とした多様な魅力づくり

- ・季節や時間を考慮した水と緑の景観資源の発掘
- ・上流域との連携によるウォーキングやスーパーマラソンへの取り組み充実  
→多摩川アトラインを基軸としながら、水辺での大小イベントの発掘
- ・多様な舟(屋形船・カヤック・手漕ぎボート)による楽しみの創出
- ・ウォーキング・ジョギング・サイクリングマップの作成

◎水辺と緑に関する情報の集約と発信

- ・ウォーターフロントでの楽しみ方の提案と情報の発信
- ・区民、来訪者の投稿による「大田区水辺 100 景」「緑 100 景」などの公募  
→「新大田 100 景」をさらにテーマ、資源別として充実する
- ・区内宿泊施設における、水辺や緑に関するウォーキングマップの提供(日・英語版)

◎体制作り

- ・多摩川に関連する取組みを行っている団体との連携
- ・船舶に関連する事業者間での連携の仕組みづくり
- ・港湾管理者、河川管理者との調整と連携した推進